ロクラク 録楽 ROKURAKU

増設ハードディスクユニット
取 扱 説 明 書



○このたびは日本デジタル家電増設ハードディスクをお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。
○お求めの増設ハードディスクを正しく使っていただくために、お使いになる前に「取扱説明書」をよくお読みください。
○お読みになった後はいつもお手元においてご使用ください。
○製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製造番号と保証書の番号が一致しているかご確認ください。

Rev.1.12.1

NyX 株式会社 日本デジタル家電
0120 FreeDial 0120-498-798 http://www.nihondc.co.jp

箱の中をお確かめください

□にチェックしながらお確かめください。

☑ 増設ハードディスクユニット取扱説明書（１冊、本書）

□ 増設ハードディスクユニット（１台）

□ 増設ハードディスク接続ケーブル（１本）

□ 電源コード（１本）

□ ハードウェア保証書（１枚）

本機の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。
Rev. 1.12.1

保証とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際必ずご確認ください。また、お買い上げの際のレシートは保証期間の確定をするための資料として必要となりますので、保証書と共に大切に保管してください。
・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
・保証期間は、お買い上げ日より１年間です。

アフターサービス

この製品の修理サービスは、センドバック方式を採用しております。詳しい内容に付きましては、同梱の保証書をご覧下さい。

具合の悪いときはサービス窓口へ

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
・型名：
・購入年月日：
・故障の状態：できるだけ詳しくお知らせください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

お客様による部品交換・修理・改造・分解を行った場合(あるいはその痕跡が認められる場合)、保証対象外となりますのでご注意ください。その為、この製品がお手元に届いた際、必ず損傷等がないことをご確認ください。詳しくは保証書をご覧ください。
この製品は当社での修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意をいただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

サービス窓口のご案内

お買い上げいただいた増設ハードディスクユニットは、お買い上げ日より１年間、サービス窓口で保証サービスを行っております。
製品の品質には万全を期しておりますが、万一、故障などの不具合が生じた場合や、接続や操作の方法がわからない場合は、当社サービス窓口にお問い合わせください。
また、製品に対するご意見なども、お気軽にお寄せください。
よりよい製品作りに生かしていきたいと考えております。

今後とも株式会社　日本デジタル家電の製品をご愛用くださいますようお願い申し上げます。

操作、故障に関するお問い合わせはサービス窓口へ

E-mail アドレス	help@nihondc.co.jp
電話番号	03-5308-5080 (修理サポート係をご指定ください)
FAX 番号	03-5308-5081
サービス時間	10:00 ～ 12:00 ,13:00 ～ 17:00 (土曜・日曜・祝祭日を除く)
URL	http://www.nihondc.co.jp

本機の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

Rev. 1.12.1

目次

増設ハードディスクユニットをお使いになるにあたって

本機は、弊社製品（製品名：ロクラク（ロクラク・マルチ以上の上位機種））の拡張ユニットとしてご利用頂く事ができます。本機をロクラクに接続してお使いいただく場合のロクラク側の操作及び、取り扱いに関しては、ロクラク取扱説明書（CD-ROM 版、印刷版）を参照ください。また、最新の取扱説明書につきましては弊社インターネットホームページ(URL http://www.nihondc.co.jp)にて掲載しておりますのでご覧ください。

本機の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。
Rev. 1.12.1

お使いになる前に

安全上のご注意

ご使用の前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全にお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

[表示の説明]

表示	表示の意味
⚠ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があることを示します。
⚠ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があることを示します。

[図記号の説明]

図記号例	図記号の意味
禁止	禁止（絶対にしてはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で説明しています。
強制	強制（必ず指示に従い行うこと）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で説明しています。

⚠ 警告

異常が起きたときは使わない

･万一、異常な音、におい、煙がでたときはすぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜くこと。
火災･感電の原因になります。
当社サービス窓口にご連絡ください。

プラグを抜く

電源は、交流 100V を使う

・AC100V 以外でご使用になると、感電・火災の原因になります。

100V 使用

分解しない

・改造・分解はしないこと。
けが・感電・火災の原因になります。
・キャビネットははずさないこと。
内部に手を触れると、感電の原因になります。

分解禁止

内部に異物を入れない

・内部に燃えやすいものや金属、水などが入ると、火災・感電、事故や故障の原因になります。

禁止

電源コードを傷つけない

- 電源コードの上に重いものをのせたり落としたりしない。
- 電源コードを傷つけたり、延長するなどの加工をしたり、熱器具に近づけたりしない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない。

コードが傷ついて、感電・火災の原因になります。

傷つけ禁止

警告（つづき）

不安定な場所に置かない	上に物を置かない
・ぐらつく台や傾いた場所など、不安定な場所や振動のある場所に置かない。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。 禁止	・重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。 ・花瓶やコップなどから液体がこぼれだした場合、火災・感電の原因になります。 禁止
風呂場には置かない ・水気の多い場所での使用は、感電・火災の原因になります。 風呂場禁止	**雷が鳴り出したら、本機に触れない** ・感電・火災の原因となります。 接触禁止

注意

設置するときは、次のことをお守りください

・直射日光や熱器具のそばに置かない。
・仰向けや横倒し、さかさまにしない。
・押入れや本箱など風通しの悪い場所に置かない。
・布（テーブルクロスやカーテン）をかけない
・じゅうたんや布団の上に置かない。
・湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気の当たる場所には置かない。
風通しが悪かったり、置き場所によっては内部に熱がこもり、火災や感電の原因となります。

設置禁止

電源プラグを持って抜く	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
・電源コードを引っ張ると傷つき、感電・火災の原因となります。 プラグを持つ	・感電の原因となります。 濡れ手禁止
電源プラグのほこりは定期的にとる ・火災の原因になります。 ほこりをとる	**移動させる場合は接続線を外す** ・電源プラグや外部との接続線を外したことを確認のうえ、移動する。 感電や火災・けがの原因になります。 禁止

増設ハードディスクケーブルは電源ＯＮのまま接続しない

・増設ハードディスクケーブルは増設ハードディスクユニット及び、ロクラクの電源ＯＮの状態で接続しない。ハードディスク故障の原因になります。

禁止

本機の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。
Rev. 1.12.1

取り扱い上のご注意

使用・保管場所

次のような場所での使用および保管は避けてください。
・極端に寒いところや暑いところ
・直射日光が長時間あたるところや暖房器具の近く
(真夏の窓を閉めきった自動車内では 50℃を超えることがありますので、ご注意ください。)
・湿気、ほこりの多いところ
・激しく振動するところ
・強い磁気を発生するものの近く
・強力な電波を発するテレビ、ラジオの近く

水平位置で使用して下さい

本機は水平位置で使用するように設計してあります。極端に傾けて使用することは避けてください。

強い衝撃をあたえないでください

落としたりして強い衝撃を与えると故障することがあります。

排気口をふさがないでください

温度上昇を防ぐため動作中に布などで包まないでください。

お手入れ

キャビネットやパネルのよごれは、乾いたやわらかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどい時は中性洗剤溶液を少し含ませた布でよごれをふきとり、乾いた布で仕上げてください。
アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

電源プラグの刃や刃の取り付け面にごみやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜きごみやほこりを除去して下さい。電源プラグの絶縁低下により、感電・火災の原因となります。

輸送の時は

付属のカートンまたは同等品で梱包し、急激な衝撃をあたえないように注意してください。

結露について

結露とは、空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。
本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだ時や、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こる時があります。
結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。　そのままでご使用になると故障の原因になります。

ハードディスクについて

本機は、弊社製品（製品名：ロクラク（ロクラク・マルチ以上の上位機種））の拡張ユニットとしてご利用頂く事ができます。その他(弊社、他社を含む) の製品に接続した状態での動作異常、故障については一切の責任を負いません。

本機を操作するには、電源スイッチ以外すべてロクラク側から操作します。（詳しい操作方法については、本書各説明及び、ロクラク取扱説明書を参照ください。

増設ハードディスクユニットは、ロクラクに接続頂いた上で、ハードディスクの特性を活かした長時間録画やすばやい頭だし再生を楽しむことができます。　その一方、ハードディスクはほこりや衝撃、振動に弱く、磁気を帯びた物に近い場所での使用は避ける必要があります。

ハードディスクは衝撃や振動、ほこりからデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記録したデータを失ってしまうことが無いよう、次の点にご注意ください。

・電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
・録画や再生中および編集中はコンセントを抜いたりしないでください。
・急激な温度変化（毎時 10℃以上の変化）のある場所では使用しないでください。
・大切な記録(録画および編集)の場合には、必ず事前に試し録画・編集をし、正常に記録されていることを確認して下さい。本機使用中、万一何らかの不具合により、記録されなかった場合の補償及び付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化および消失など）に関して当社は一切の責任を負いません。
・すべての動作中に電源プラグを抜いたり、停電があった場合、記録内容が損なわれたり､あるいはすべて消える場合があります。

何らかの原因で本機が故障した場合は、データの修復は出来ませんので大切な映像などはビデオテープ等にダビングするなどしてバックアップを取っておくことをお勧めします。

免責事項について

・火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な障害（事業利益の損失､事業の中断、記録内容の変化および消失など）に関して当社は一切の責任を負いません。
・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

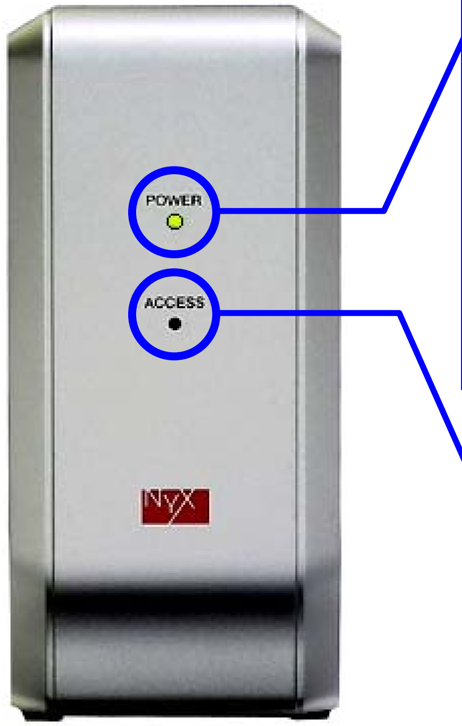
停電について

本機の動作中に停電等が発生したり、電源プラグをコンセントから抜いたりすると、場合によっては記録された内容が損なわれたり、消去されてしまう場合がありますので、ご注意下さい。万一に備えて、大切な記録につきましては、ビデオテープ等にダビングして保存される事をお勧め致します。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、本書及び「ロクラク取扱説明書」をもう一度ご覧頂き、各種設定をご確認下さい。また、ケーブル接続状態及び接続コネクタがしっかり挿し込まれている事等を点検してください。それでも正常に動作しない場合は、当社サービス窓口にお問い合わせください。

増設ハードディスクユニット（前面）



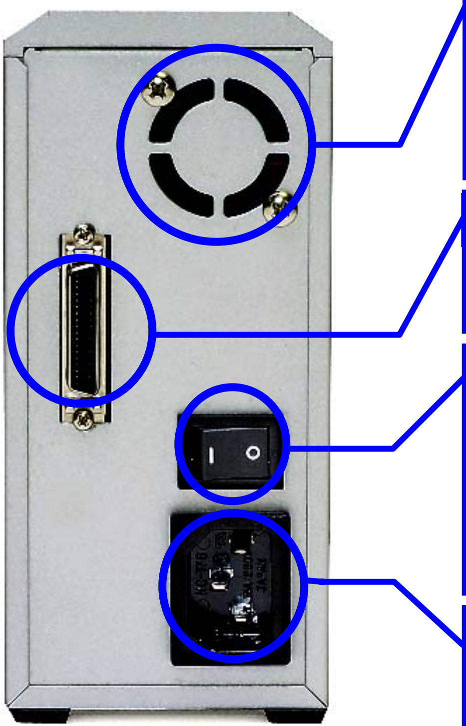
電源ランプ

電源を入れた状態で、ＬＥＤが点灯(緑色)します。本機をロクラクに接続する場合にはこのランプが消灯していることを確認の上、接続してください。また、電源を入れる場合には、本機の電源を入れた後、ロクラクの電源を入れてください。（詳しくは、「増設ハードディスクの電源を入れる」を参照ください。）

ハードディスクアクセスランプ

ハードディスクへのアクセス中に点滅します。アクセスする先がロクラク内蔵ハードディスクの場合でも本機のアクセスランプは点滅します。

増設ハードディスクユニット（背面）



冷却用ファン排気口

本機で発生した熱を逃がすための排気口です。排気口の前約１０ｃｍには何も置かず、風通しの良い状態にしておいてください。

接続コネクタ

ロクラクの背面にある「拡張コネクタ」と接続します。

電源スイッチ

増設ハードディスクユニットの電源を入／切します。
本機を使用する場合には、本機の電源スイッチを入れた後、ロクラクの電源スイッチを入れてください。

電源ケーブル接続端子

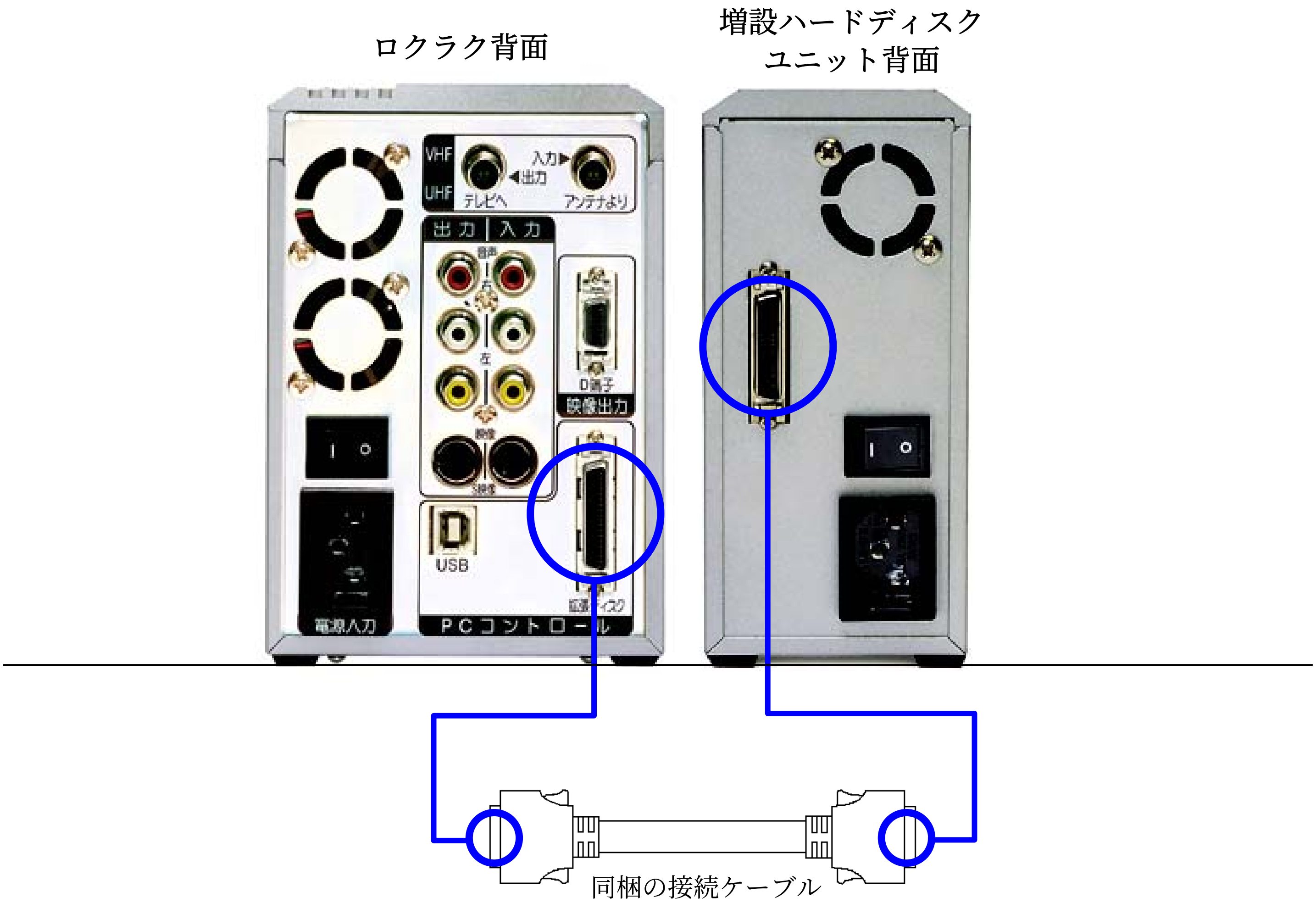
電源ケーブルを接続します。

本機の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

増設ハードディスクユニットとロクラクを接続する†1

増設ハードディスクユニットを使用するにはロクラクと本機付属の接続ケーブルにて接続してください。

増設ハードディスクユニットとロクラクを以下の図を参照の上接続してください。



†1　ロクラクと増設ハードディスクユニット間の接続は、増設ハードディスク接続ケーブルのコネクタ部分を「カチッ」と音がするまでしっかり差込んでください。

⚠警告　電源プラグは家庭用交流 100V のコンセントに接続してください。交流 100V 以外を使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意　ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

お願い　接続するロクラク本体の取扱説明書もよくお読みください。

接続するときは、必ず本機およびロクラクの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

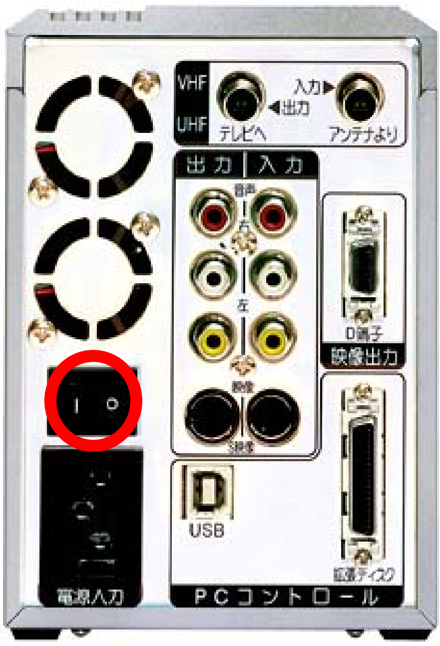
本機の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

Rev. 1.12.1

起動する

増設ハードディスクユニットを使用するにはロクラクと本機を付属の接続ケーブルにて接続してください。
初めて使用する場合、増設ハードディスクユニットのフォーマットを実施してください。

ロクラク背面



増設ハードディスクユニット背面



1　ロクラクと増設ハードディスクユニットの電源が切れていることを確認する

・背面電源スイッチの「○」表示が押された状態で、電源が切れています。

2　ロクラクと増設ハードディスクユニットは接続ケーブルのコネクタ部分をカッチっと音がするまでしっかり差込みます

・この操作は「増設ハードディスクとロクラクを接続する」の項をすでに実行してある場合にはとばしてください。

3　増設ハードディスクユニットの電源を入れる

・「｜」表示が押された状態で電源が入ります。
・増設ハードディスクユニット前面の POWER ランプが緑色に点灯します

4　ロクラクの電源を入れる†1

・背面電源スイッチの「｜」表示が押された状態で電源が入ります。
ロクラク前面の POWER ランプが緑色に点灯し、テレビ画面にロクラクのロゴが表示されます。
ロクラクの電源を入れるにはロクラク取扱説明書も参考にしてください。

5　増設ハードディスクを初めて使用する時には、フォーマットを行います

購入して初めて使用する場合、増設ハードディスクのフォーマットを行ってください（11ページ参照)。

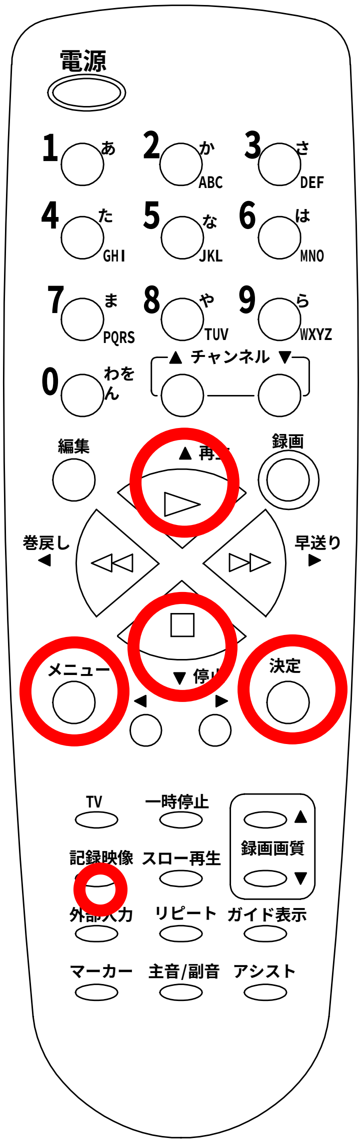
電源を切るには？

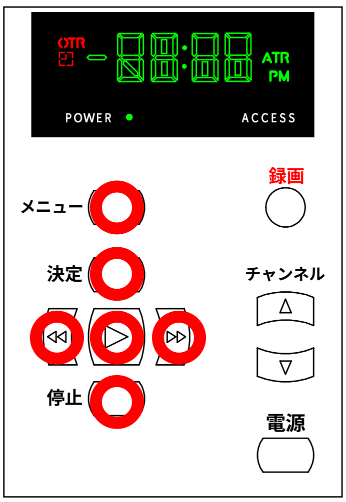
増設ハードディスクユニット電源を切るには、ロクラクの電源を背面電源スイッチにて切ってから、増設ハードディスクユニットの背面電源スイッチを「○」の状態に押してください。
・「○」表示が押された状態で、電源が切れています。

†1　ロクラク電源投入前に、増設ハードディスクユニットの電源を入れてください。（増設ハードディスクユニットの電源が入っていない場合、ロクラクは増設ハードディスクを認識できません。）

増設ハードディスクをフォーマットする

この機能を実行すると、増設ハードディスクに録画したファイル(記録映像)はすべて消去されます。
増設ハードディスクをフォーマットする場合は、必ず「ハードディスクを切り替える」で外部HDDに切り替えてください。





準備をする

増設ハードディスクをフォーマットするには「ハードディスクを切り替える」を実行し、フォーマットメニュー内に表示する”使用中ディスク”の項目が外部 HDD と表示していることを確認してください。

1　「記録映像画面」にて[メニュー]キーを押して「ロクラク」メニューを表示する

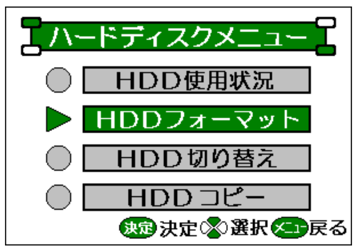
[記録映像]キーを押して「記録映像画面」にしてから、[メニュー]キーを押します。

パネル [(早送り)→][←(巻戻し)]キーを押して「記録映像画面」にし、[メニュー]キーを押す



2　[↑(再生)] [↓(停止)]キーでハードディスクを選び[決定]キーを押す

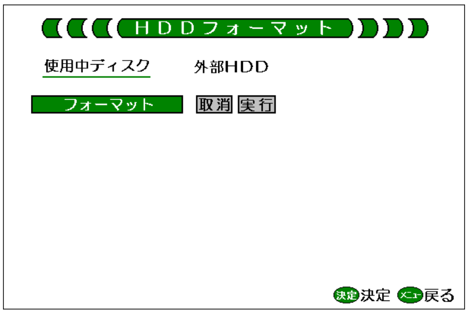
・「ハードディスク」を選ぶと次のような画面が表示されます。



本機の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

3 [↑(再生)] [↓(停止)]キーで「HDD フォーマット」を選び[決定]キーを押す

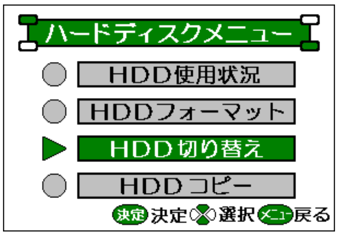
・HDD フォーマット画面が表示されます。



4 " 使用中ディスク " 表示が外部 HDD ではない場合、[メニュー]キーを押す

・"使用中ディスク"表示が内蔵 HDD の場合、[メニュー]キーを押して、「HDD フォーマット」実行をいったんキャンセルします。

・「ハードディスクを切りかえる(14 ページ参照) 」により、"使用中ディスク"を外部 HDD に切り換えて、最初からやり直してください。



5 " 使用中ディスク " 表示が外部 HDD の場合、[決定]キーを押す

・カーソルが右の項目に移りますので[(早送り)→]キーで「実行」を選び、録画した内容がある場合すべて消去してよいことを確認後、再度[決定]キーを押します。

・警告表示が出ますので、フォーマットしてよいか再度確認し、よければ[決定]キーを押します。

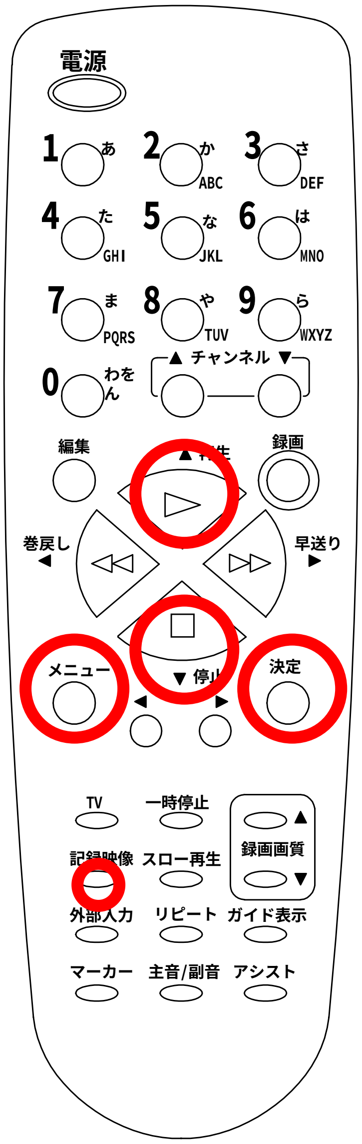
・「ディスクフォーマット終了」と表示され、HDD フォーマット画面に戻ります。

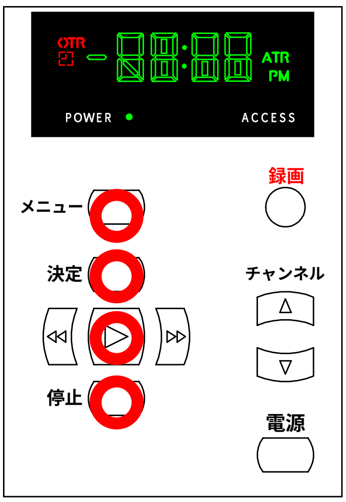
・フォーマットしないときは[メニュー]キーを押します。

お願い
ハードディスク・フォーマットを行った場合、背面部にて電源スイッチを切った状態（スイッチが「○」の状態）にしてから、再度、本体電源スイッチを入れて（スイッチが「｜」の状態にして）ください。

ハードディスクの使用状態を見る

この操作は増設ハードディスクに切り替えてから操作してください。





1　「記録映像画面」にて[メニュー]キーを押して「ロクラク」メニューを表示する

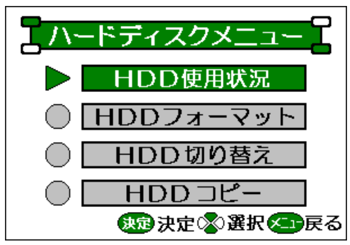
[記録映像]キーを押して「記録映像画面」にしてから、[メニュー]キーを押します。

パネル [(早送り)→][←(巻戻し)]キーを押して「記録映像画面」にし、[メニュー]キーを押す



2　[↑(再生)] [↓(停止)]キーでハードディスクを選び[決定]キーを押す

・「ハードディスク」を選ぶと次のような画面が表示されます。†1



3　[↑(再生)] [↓(停止)]キーで「HDD 使用状況」を選び[決定]キーを押す

・HDD 使用状況画面が表示されます。

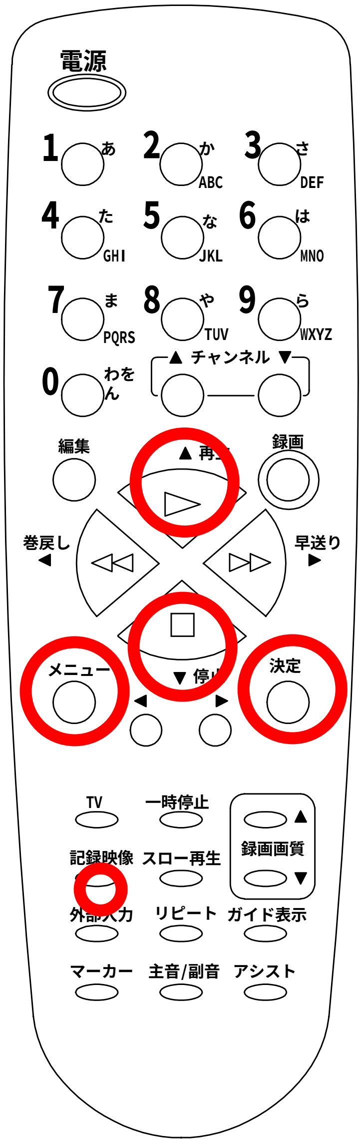
4　確認が終わったら[メニュー]キーを押す

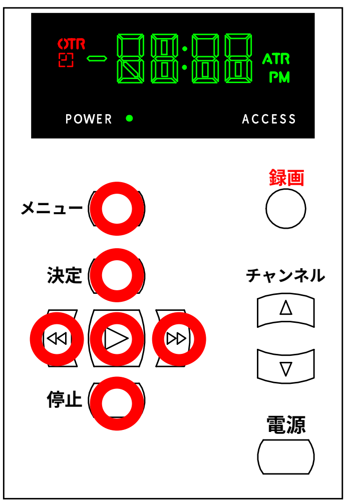
・ハードディスクメニューに戻ります。

本機の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

ハードディスクを切り替える

増設ハードディスクで録画・再生をするには、ロクラクのメニューで外部ＨＤＤに切り替えしなければなりません。
以下にその設定方法を記載します。





1　「記録映像画面」にて[メニュー]キーを押して「ロクラク」メニューを表示する

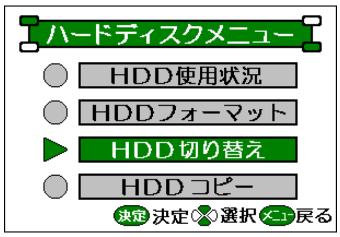
[記録映像]キーを押して「記録映像画面」にしてから、
[メニュー]キーを押します。

パネル [(早送り)→][←(巻戻し)]キーを押して「記録映像画面」にし、[メニュー]キーを押す



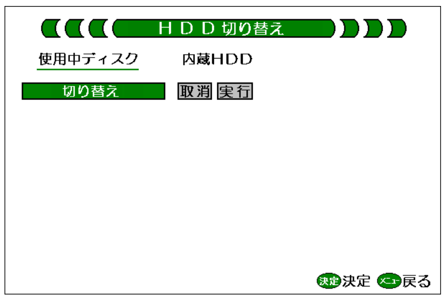
2　[↑(再生)] [↓(停止)]キーでハードディスクを選び[決定]キーを押す

・「ハードディスク」を選ぶと次のような画面が表示されます。



3　[↑(再生)] [↓(停止)]キーで「HDD 切り替え」を選び[決定]キーを押す

・HDD 切り替え画面が表示されます。

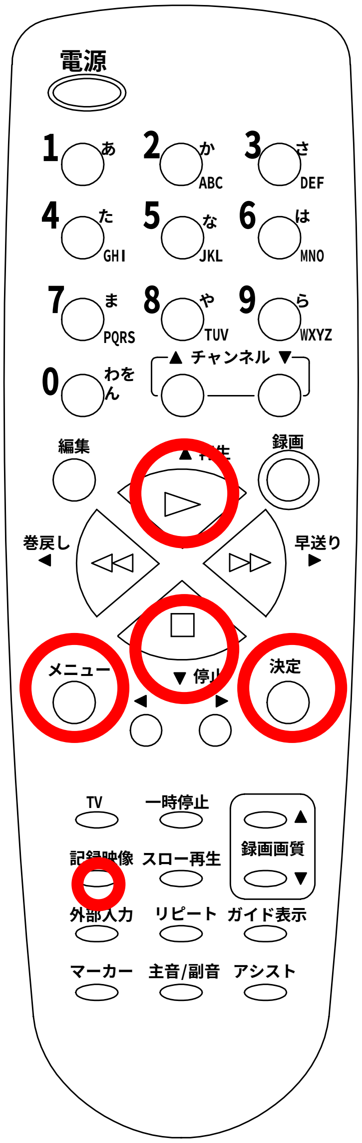


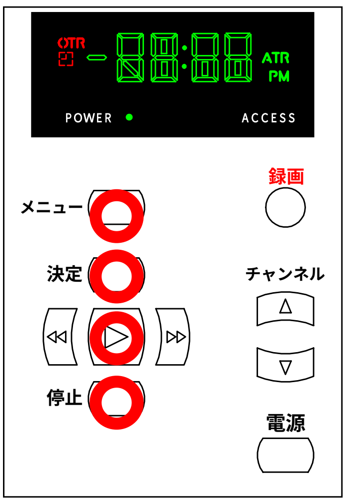
4　[(早送り)→]キーで「実行」を選び[決定]キーを押す

・　内蔵ハードディスクと、外部ハードディスクを切り替えることができます。

ハードディスクをコピーする(内蔵 HDD⇔増設 HDD)

増設ハードディスクをつないでいるとき、内蔵HDD⇔増設HDD間でハードディスクの全コピーが行えます。
HDD コピーを実行するとコピー先のハードディスクに記録されていたすべてのファイルは削除されてしまいますので注意してください。





1 「記録映像画面」にて[メニュー]キーを押して「ロクラク」メニューを表示する

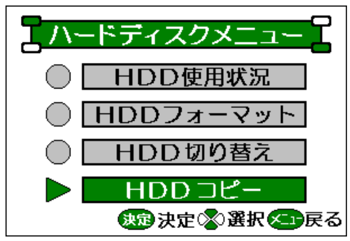
[記録映像]キーを押して「記録映像画面」にしてから、[メニュー]キーを押します。

パネル [(早送り)→][←(巻戻し)]キーを押して「記録映像画面」にし、[メニュー]キーを押す



2 [↑(再生)] [↓(停止)]キーでハードディスクを選び[決定]キーを押す

・「ハードディスク」を選ぶと次のような画面が表示されます。



3 [↑(再生)] [↓(停止)]キーで「HDD コピー」を選び[決定]キーを押す

・HDD コピー画面が表示されます。



4 “使用中ディスク”を確認する

・使用中ディスクが”内蔵 HDD”の表示の場合
内蔵ハードディスクから増設ハードディスクにコピーします
・使用中ディスクが”外部 HDD”の表示の場合
増設ハードディスクから内蔵ハードディスクにコピーします

5 コピーを実行してもいい場合には、[(早送り)→]キーで「実行」を選び[決定]キーを押す

・「実行」を選択した場合には、”実行をするとコピー先のすべてのファイルが削除されますがいいですか？ “ のメッセージを表示します。
・キャンセルする場合には「取消」で[決定]キーを押してください。

6 “はい”の場合は[決定]キーを押す

・ハードディスクのコピーを開始します。
コピーが終了したら[メニュー]キーを押し終了してください。
・コピーを実行したくない場合には[メニュー]キーを押してください。

「増設ハードディスクユニット」ユーザー登録フォーム

　この度は、日本デジタル家電製品をおもとめいただきまことにありがとうございます。ユーザー登録は、弊社からお客様へご連絡を差し上げる際の資料となりますので、シリアルナンバー、住所、e-mailアドレスなど記入もれのないように必ずご登録ください。

■e-mail による登録

この「ユーザー登録フォーム」の内容を記載の上、送信してください。
送信先：sales@nihondc.co.jp

■FAXによる登録

この「ユーザー登録フォーム」に必要事項を記入の上、下記FAX番号でFAXしてください。
FAX番号：03－5308－5081

製品名	増設ハードディスクユニット	シリアル番号	
ユーザー登録番号	＊既に登録されている方は その番号をご記入ください。		
登録区分	□ 個人　　□ 法人（会社、学校、官公庁など）		
ご住所 （ビル） （様方）	〒　フリガナ 都　道 府　県 フリガナ TEL FAX		
法人名 部署	フリガナ TEL FAX		
お名前 （ご担当）	フリガナ 様　男　女　大　昭　平　年　月生		
E-mail アドレス			

Q1 何で「ロクラク」をお知りになりましたか。該当するものを全て選んで下さい。

□ 雑誌広告（　　）　□ 雑誌記事（　　）
□ 新聞記事（　　）　□ カタログを見て（　　）
□ NYX 日本デジタル家電ホームページ　）　□ その他のHP（　　）
□ 知り合いの薦めで（　　）　□ 商品を見て（　　）
□ 展示会を見て（　　）　□ 店頭ｲﾍﾞﾝﾄを見て（　　）
□ 車内広告を見て（　　）　□ TVCMを見て（　　）
□ その他（　　）

Q2 ご購入の際、他の製品と比較しましたか？
□ はい（比較した商品：　　）　□ いいえ

Q3 本機をお選びになった理由は？
理 由：

Q4 取扱説明書はわかりやすいですか？
□はい　□いいえ（　　）

Q5 主な用途をご記入ください（いくつでも）

本機の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

Rev. 1.12.1